

小学部事例検討会を行いました！

小学部事例検討会の内容をまとめましたので、ご一読ください！

(1) 肥満児童に対する体重減少の支援方法や取り組み

☆児童 A について

○担任が困っていること・・・体重が減少しない。

体重増加についての危機感を保護者とどのように共有し、協力体制をつくるか。

(転倒があったときに体重が重いと支えられない。怪我のリスクが高い。)

○現在行っている支援・・・歩行練習、階段昇降、ファシリテーションボールの活用

給食での取り組み(野菜やみそ汁から摂取する。1回量を少量にする)

①体重減少の支援方法

②保護者と協力体制をつくる方法

が知りたい!!



<参加者からの意見(一部)>

①足湯、毎日できる運動、サーキット運動、白米を減らす、蒟蒻ごはんにする等、、、

②家庭で取り組めそうなことの提示。保護者に「これならやれそう」と思ってもらえるよう動画やイラスト等で具体的に提示する。医療機関との連携。食べたもののリストアップをする。肥満外来・短期入所等で食事の量の管理等、、、

(2) 不登校児童の支援方法や取り組み

☆児童 B、C について

○担任が困っていること・・・不登校児童に対する支援方法、保護者へのアプローチ

○現在行っている支援・・・定期的な電話や行事前などに電話、家庭訪問、放課後デイへの訪問、ケース会議



①不登校児童に対する支援方法(保護者支援も含めて)

②登校した際の集団活動への関わり方

が知りたい!!

<参加者からの意見(一部)>

①移動支援、放課後デイとの連携、Zoomで授業の様子を見せる。本人が学校に行きたいと思えるような工夫。家庭訪問で学校の中の好きそうなものを見せて誘う、友達の様子を伝える。好きな授業があるときだけ登校する。保護者との信頼関係を築く(がんばっていることを褒める!)、1日の詳細な予定表(教科だけではなく、内容まで書いたもの)の提示。

②別教室での活動。教師との関わり優先させる。好きなことをしながら、、、

特別支援 Co.金川先生より

近年、児童や保護者に対してカウンセリングマインドを活かした支援が必要になってきています。本人や保護者のニーズ(困っていること)と一緒に解決していくというスタンスが大切です。①周りから孤立しないよう各機関とつなげること②正論だけでなく、「できること」を一緒にみつけていく姿勢で対応することの2点を心がけましょう。

不登校児童への対応ですが、不登校支援とは、登校することが目的ではありません。子どもが自分の進路を考え、社会的に自立することをめざすことが目的です。当該の児童、保護者の気持ちに寄り添いながら支援していきましょう。また、不登校児童への対応に目を向けがちですが、不登校になりそうな児童の早期発見、防止がとても重要となります。業務が多岐に渡りますが、今後とも相談しながらいねいに対応していきましょう。